2002.11.6

主な正規表現の記号

記号	意味
^	行頭にマッチする。
$	行末にマッチする。
.	改行を除く任意の 1 文字にマッチする。
[ ]	括弧内のいずれか 1 文字にマッチする。
[^]	括弧内以外の 1 文字にマッチする。
*	直前の表現の 0 回以上の繰り返しにマッチする。
+	直前の表現の 1 回以上の繰り返しにマッチする。
?	直前の表現の 0 回または 1 回だけマッチする。
{n}	直前の表現の n 回の繰り返しにマッチする。
{n,}	直前の表現の n 回以上の繰り返しにマッチする。
{n,m}	直前の表現の n 回以上 m 回以下の繰り返しにマッチする。
p|q	パターン p または q にマッチする。
( )	括弧内をグループ化する。マッチした文字列を記憶する。
(?:)	括弧内をグループ化する。マッチした文字列を記憶しない。
(?>)	括弧内のパターンに一旦マッチすると、変更しない。
\s	空白系文字にマッチする。全角スペースは空白系文字ではない。
\S	非空白系文字にマッチする。
\d	数字系文字にマッチする。[0-9] と同じ。
\D	非数字系文字にマッチする。

主な特殊文字

記号	意味	記号	意味
\t	タブ	\b	バックスペース
\n	改行	\a	ベル
\r	復帰	\e	エスケープ
\f	改ページ	\s	空白

主な特殊変数

記号	意味
$stdin	標準入力
$stdout	標準出力
$_	現在のスコープで最後に gets、readline が読み込んだ文字列
$~	最後のパターンマッチに関するデータ (MatchData クラス)
$数字 n	最後のパターンマッチで、n 番目の括弧に対応する文字列
$+	最後のパターンマッチで、最後の括弧に対応する文字列
$&	最後のパターンマッチでマッチした文字列
$‘	最後のパターンマッチでマッチした部分以前の文字列
$’	最後のパターンマッチでマッチした部分以降の文字列